

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

1999

3

NO.528



雪あそびは楽しいナ！

大平スキー場で



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

初セリ平均価格は42万円余り

2月 子牛市場

昨年の初セリと比較、
一頭あたり一万九千円の上昇



初セリからはじまる 今年一年畜産の行方

全県黒毛和種子牛の約六割を占め、県内最大市場である本荘市の広域由利畜産市場。

二月九日には、一年の畜産の行方を占う黒毛和種の子牛（生後約十カ月）初セリが同市場で行われました。

当日は町内畜産農家の皆さんが日頃手塩にかけた牛を上場、また県内外から約百五十余名の関係者、購買者がセリに参加しました。

購買者は、一頭一頭の血統、体形、発育度などを、永年の経験と勘に基づき真剣にチェックしていました。

最終的に、由利市場では、四百十二頭の上場があり、そのうち三百九十五頭の売買が成立しました。

本町からは七十八頭の子牛が上場され、そのうち六十

一億三千三百四十一万円の収納状況

葉タバコ収納+ 収納反省会

平成十年度産葉タバコの収納作業が一月二十日から二十六日まで、増田町日本たばこ葉たばこ取扱所で行われました。

この収納作業は葉タバコ農家にとって一年の締めくくりということで、丹精こめて育てた葉タバコの評価に一喜一憂していました。

町の葉タバコは、由利郡内で作付け面積が最大、なおかつ品質も県レベルにおいて高い評価を得ています。ま



▲葉タバコ収納作業の状況



▲2月9日の葉タバコ収納反省会

た、米、和牛に続く生産額が一億を越す町主要作目でもあります。

平成十年度収納状況は販売総額で一億三千三百四十一万円あまり、十アールあたり代金四十五万六千円でした。

収納作業完了後、二月九日には葉タバコ収納反省会が行われました。

出席した関係者を前に小松兵亮会長は「今年は長雨と日照不足にたたられたが、販売総額は昨年と比較して一千三百万円ほど上昇している。今後なお一層栽培面積拡大に努力願いたい」と話していました。



▲子牛価格安定を祈願する鏡割りが行われた

町長日記

雪害対策本部の設置

今年の冬は久しぶりに本格的な降雪の冬になりました。ここ何年か続いた暖冬に慣れておりましたので、厳しい寒さの中での体にきつい除雪作業の日々が続きます。

特に一月下旬からの連日の降雪により、二月三日午前八時、老方館の駐車場内にある県積雪観測所の積雪深が一五三センチになり、さらに降雪が続くと町民生活に大きな

九頭が成立。一頭当たりの平均価格が四二一、五二円と、昨年の初セリと比較すると一九、〇二七円上がりました。

また、平均価格は去勢、雌それぞれ四九四、四九八円、三二〇、八六六円。最高価格は去勢、雌それぞれ六五七、三〇〇円、四五四、六五〇円でした。

牛肉相場が低迷する中、価格の上向き傾向の兆しが見られるだけに、今後、畜産農家の皆さんの頑張りに期待がかかります。

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	40	311kg	494,498	1,515
雌	29	282kg	320,866	1,074
合計	69	298kg	421,522	1,330

●最高金額 去勢 657,300 北国7の8 紋次郎 益美
●最高金額 雌 454,650 北国7の8 高栄 栃富士

二月家畜市場

班も全町をパトロール、その情報をもとに民生委員の皆さんにもご協力をお願いをし、担当地区での目配りをしていただきました。

幸いにして今日まで積雪による被害の報告はありません。その後積雪も一段落をして今年のペースに戻ったところですが、一時はどこまで積もるのか大変心配したことです。気温もマイナス二〇度を記録した日もありました。

しかしこういう時にも道路の除雪は何の支障もあり

21自治会が町税完納を

平成十年度分、町税等の完納自治会は次の二十一自治会です。完全納税にご協力いただきありがとうございます。

(二月二十日現在)

蔵新田、蔵、宮ノ前、寺田、高村、土場沢、杉森、茂沢、桂台、中ノ沢、奥ヶ沢、新処、五海保、岩館、八日町(以上一月完納) 山崎、十二ノ前、畑村、葎沢、袖山、松柴

■平成十年度所得税納期限は三月十五日です。振替納税の場合は四月十六日です。

第二回 議会臨時会

二月十七日招集

第二回議会臨時会が二月十七日に招集され、平成十年度東由利町一般会計補正予算を原案どおり可決しました。補正内容は次のとおり。(二部抜粋)

●議案第一号 平成十年度東由利町一般会計補正予算(第七号)
児童福祉施設費 二百二万九千円
冬期交通対策費 九百五十五万円

ませんでした。町直営のオペレーターの仕事、そして委託した業者の皆さんの働きにより万全の対策がとれたところでした。ただ二月十三日の猛吹雪には参りました。道路の確保に大難儀をしました。

またこういう時にはホッとすると話題もです。まず、下郷分校の生徒たちのボランティア作業がありました。毎年の恒例行事になってはおりますが、一人暮らし老人宅での除雪作業に大汗をかくてくれました。皆さんにいたく感謝をされたと聞きました。そ

れから、役場職員組合の若手が休日を利用して、老人宅の除雪ボランティア作業を行いました。こういう時こそ特に地域の連帯の精神が光って見えるのでした。

今冬は久しぶりに本格的な冬期除雪対策の冬になりましたが、長く厳しい冬ももう少しです。冬が厳しければ厳しいほど素晴らしい春がやってきます。八塩いこいの森の黄桜の春が待ち遠しいこのごろ、インフルエンザに気をつけて、もうひと頑張りしましょう。

子どもから大人まで雪を満喫



▲八塩元気クラブによるスノーモービル試乗会は大人気

まつり両日で3,500人の入り込み

～元気の出るまつり～

東由利雪ものがたり99



▲雪のゲートを通り特設イベント会場へ

二月二十日、二十一日の両日、道の駅特設イベント会場で「元気の出るまつり・東由利雪ものがたり99」が開催され、子どもから大人まで約三千五百人が雪を中心にした各種イベントを楽しみました。

雪まつりは昨年まで大平スキー場で開かれていましたが、今年は内容などを見直し、町観光協会主催、町各団体が協力しあって新たな気持ちでまつりをと、開催したものです。

初日、前夜祭として「レーザースOUNDショー」が行われ、幻想的な光景が特設会場に広がりました。



▲皆が一心不乱に熱中した宝さがし



▲遊雪ランドでは子どもたちが大いに雪と遊んだ



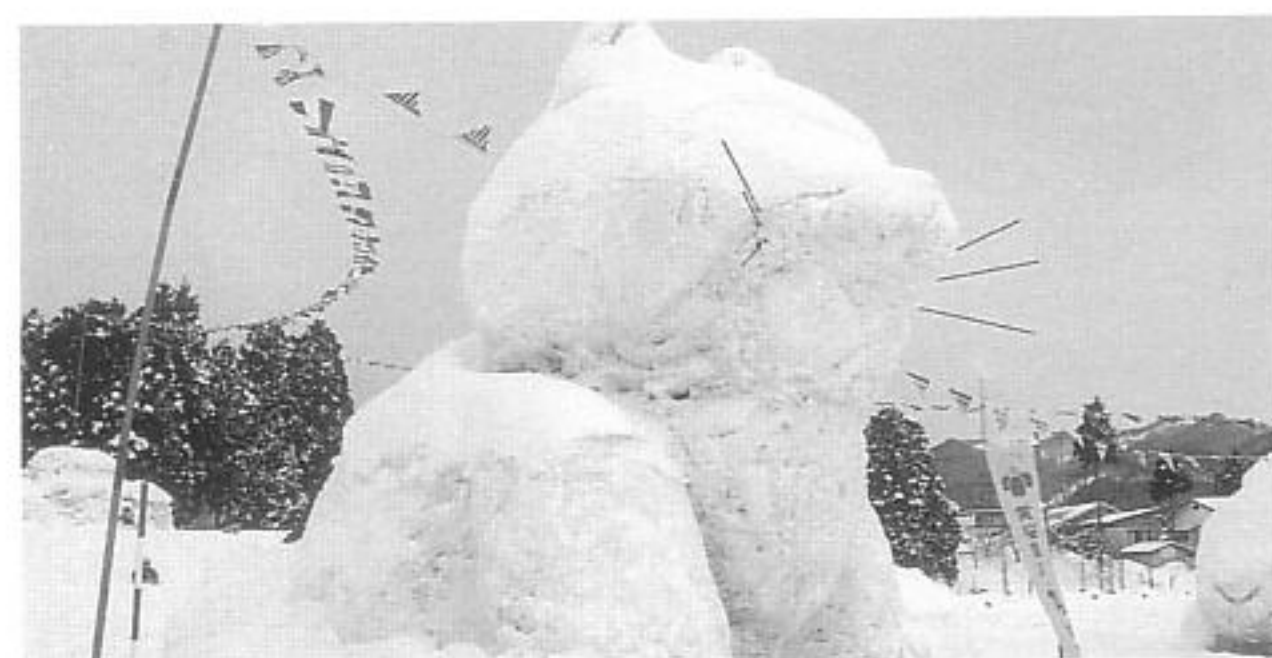
▲かまぐらで仲間たちと語らいあった



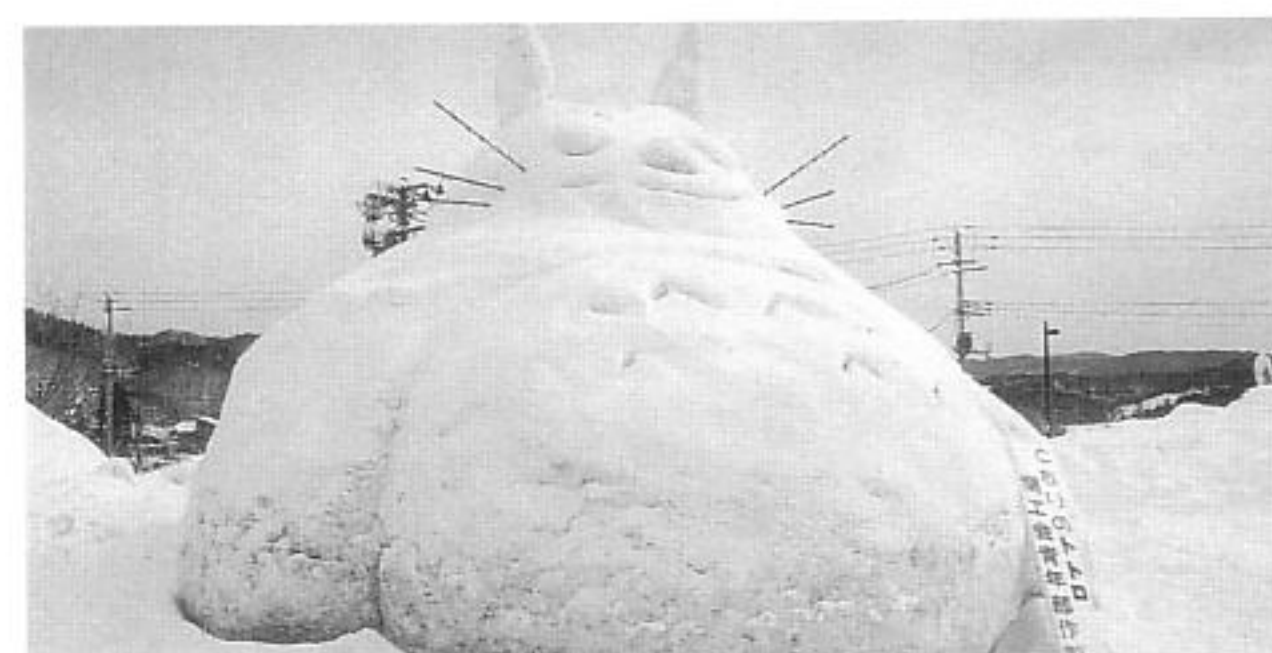
▲八塩元気クラブの雪像は全長8メートルのトンネル付



▲ふれあいプラザふれっそは干支のうさぎに挑戦



▲黄桜の里は高橋宏幸先生にちなんでキツネの像を



▲好評のアニメキャラクター「トトロ」は商工会青年部作

道の駅で雪と遊び親しんだ二日間

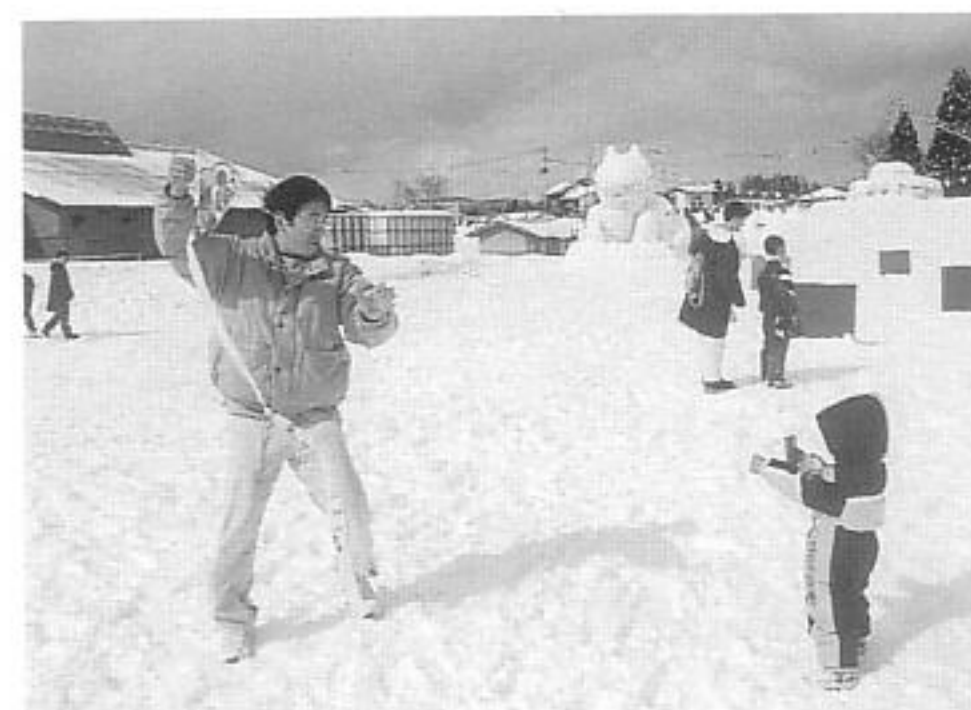
各団体力作雪像の数々



▲雪の遊園地のすべり台は常に人気



▲雪玉合戦大会では子どもたちの歓声が



▲風の会から無料で風のプレゼント

二日目は、様々な雪像、滑り台などが設置された「雪の遊園地」を中心にまつりが行われ、雪と遊ぶ遊雪ランドの部で「宝さがし」、「スノーモービル試乗会」などのイベントが、雪上でのスポーツを楽しむ雪リンピックの部で「雪上野球大会デモンストラション」、「雪玉合戦」、「生たまごキャッチ」などが行われました。

また、風の会が無料で風をプレゼント、町内各団体の出店が温かい食べ物を提供するなどそれぞれが冬のまつりを盛り上げていました。



▲町各団体による出店の温かい食べ物で元気回復

感謝をこめてスキー場大開放!

大平スキー場 お客様感謝デー

日頃大平スキー場を利用していただいている皆さんに感謝の気持ちをと、二月七日に大平スキー場でお客様感謝デーが行われました。

感謝デーでは、スキー場従業員がアイデアを出し合って、様々な趣向あふれる催しを企画しました。

スキー大会、スノーボードワンメイク大会、無料スキースクール、公民館主催スポーツ競技など雪を利用した各種競技をはじめ、スノーモービル、チューブ滑り、宝さがしなど盛りだくさんの内容に、訪れた方は東由利の冬を充分堪能していたようでした。



▲華麗なスノーボードの技を披露



▲スノーモービルが場内（大平荘前）をかけめぐった



▲楽しみながらスキーに親しんだ



▲緊張したチューブ滑り

綱引きで寒さを吹き飛ばせ!

町民スポーツ祭・綱引き競技

二月十四日、健康増進センターで町民スポーツ祭綱引き競技が行われました。男子の部十五、女子の部六、小学生の部四チームの合計二十五チームが参加、熱戦を展開しました。

参加者たちは、寒さを吹き飛ばせとばかり、持てる力のすべてを発揮しながら、日頃の運動不足解消を図っていました。成績は次のとおり。

【男子の部】一位・新町A 二位・蔵B 三位・蔵新田
【女子の部】一位・蔵 二位・石高 三位・岩館
【小学生の部】一位・蔵 二位・石高 三位・新町

【町スポーツ祭・総合の部】

一位・蔵 二位・小倉 三位・新町



▲日頃の運動不足とストレス解消になった綱引き

住宅防火は家族みんなの注意から

「気をつけてはじめはすべて小さな火」。一つの小さな炎が大きな火災となって、多くの命と莫大^{ばくだい}な財産を奪っていきます。

家族一人ひとりの日ごろの「火を出さない」という防火意識が、わが家を火災から守るための出発点となります。

多い高齢者や

子どもの被害

平成九年中の住宅火災による死者九百二十三人のうち、六十五歳以上の割合は約五四%。五歳以下の子どもを含めると六〇%近くにもなります。

まさかに備える工夫

住宅防火のポイントは、まず火を「出さない」こと。もし失火したら「早く知る」「広げない」「早く消す」の四つで

す。お年寄りの主な死亡原因は、睡眠中や体が不自由なこ
とによる「逃げ遅れ」、炊事中
の「着衣着火」などです。お
年寄りは、年齢からくる判断
力や運動能力の低下に加え、
体力の衰えなどにより一人で
行動できないことがあります。

春の全国火災予防運動 三月一日～七日

住宅火災で亡くなる人が多いんだね



そのうち半数以上がお年寄りなのよ



火災はちょっとした気の緩みからね



住宅火災による死者の一番の原因は、たばこの火の不始末か



亡くなった原因は4人のうち約3人が逃げ遅れなんだ



わが家の防火対策はどうじゃろ



広報ひがしゆり 1月号より再掲載

●電気火災の原因と注意事項●

火災の原因は、放火・失火・自然発火の三つに大別され、失火の原因となるものは多種多様です。失火の主たる物には炊飯中の火、タバコの火、風呂の火、煙突の火、石油ストーブの火、電気器具等からの火があります。

(1) 配線や電気器具のコード等は圧迫、ねじれ、金属等の接触によってコードの被膜が劣化し、この箇所から出火することがある。

(2) 接続端子の締め付け不良、プラグ等の差し込みの緩みがあると、電流の抵抗が大きくなり、熱を持ち火災になることがある。

(3) 石油ストーブについては点検を怠ると不完全燃焼、異常燃焼により火災になる恐れがある。

(4) 電気製品で長時間使用しなかったものや、使用期間が長くなったものは要注意。

(5) 電気製品を素人が修理することは危険。自己流修理はしない。

電気火災は必ずといってよいほど前兆があるので、おかしいと思ったらこれを見逃すことなく点検を。

す。そのための備えとして、次のような住宅用防災機器等があります。しかし、それら住宅用防災機器等は、油断や慢心など心のスキを埋めるためのものです。住宅防災の一番の対策はやはり一人ひとりの「火を出さない」という心がけです。

●住宅用消火器・・・住宅防火には欠かせない機器です。

●住宅用火災警報器・・・万一のとき、火災の発生を素早く知らせます。

●住宅用自動消火装置・・・天井に取り付ける住宅用下方放出型自動消火装置や壁に取り

り付ける住宅用フードファン付レンジ用自動消火装置があります。お年寄りの部屋や台所に適しています。

●防災品・・・火の拡大を抑えることができます。カーテンやじゅうたん、寝具などがあります。

●安全暖房器具・・・揺れを感じたり異常に加熱したりすると自動的に火が消えます。

●天ぷら油火災用消火具・・・スプレー式で片手で一瞬のうちに消火できます。

また、電気火災の原因と注意事項について再度紹介します。

卒業、就職の季節・国保も忘れずに

勤め先の健康保険に加入したら

国保の脱退手続きをしましょう

役場では、国保の加入者が会社や官公庁に就職し、職場の健康保険に加入しても、そのことは全くわかりません。また反対に職場の健康保険を脱退し、国保に入らなければならない人もわかりません。

職場の健康保険に加入したら、職場の健康保険証と国保の保険証を持って町民課国保係で国保

をやめる手続きをとってください。手続きをおこなうといろいろやっかいになります。国保をやめる手続きをしないままにしておくと、いつまでも国保税がかかっていきます。

出稼ぎ先で職場の健康保険に入った場合も同じです。早めに町民課国保係へ届け出てくださ

保険証が変わったら 医療機関へ届け出を

保険証が変わったら、今かかっているお医者さんの窓口で保険証を提示してください。新しい保険証を提示しないで診察を受けた場合、資格のない健康保険で診察を受けたことになり、場合によっては、あとからこの分を変更前の健康保険に現金で返さなければならなくなります。返還額が多額の場合、いろいろな面倒なことがおきてきます。

四月一日から国保の保険証が新しくなります

平成十一年四月一日から有効の新しい保険証について、国保に加入されている世帯へ、三月下旬に自治会長経由で交付を行う予定です。保険証は、お医者さんで受診の際に国保に加入していることを確認できる証明書となりますので、次のことに協力ください。

①現在入院中あるいは通院中の方は、必ず四月はじめに新しい保険証をお医者さんの窓口へ提示してください。

②現在使用している保険証は、

アイディア料理で優良賞



▲優良賞の遠藤健光君

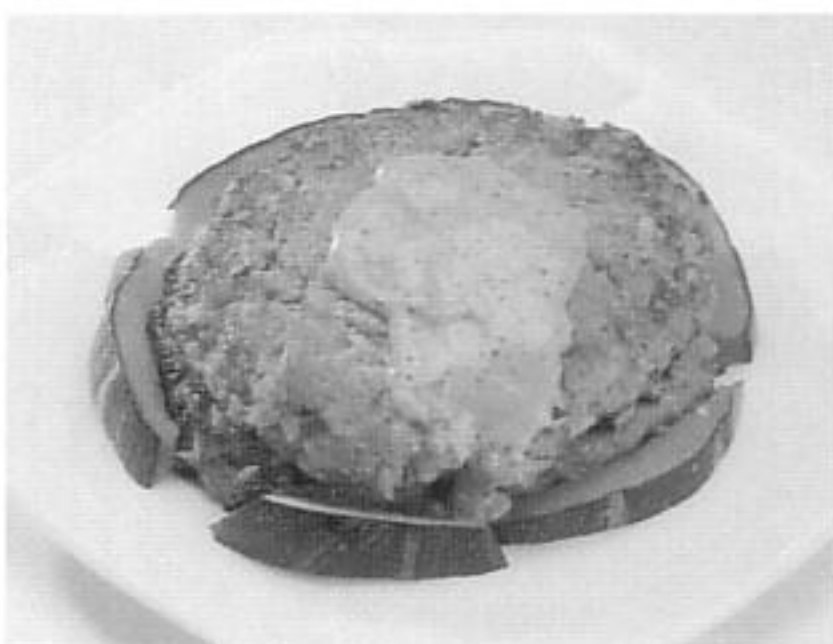
して作った料理だけに、うれしい」と笑みを浮かべながら話してくれました。

若い世代のごはんに対する新鮮な感覚と豊かなアイディアを、ごはん料理に生かすとともに、日常生活の中で実践に結びつけることを目的に行われている「あきたヤング・ライスクッキングコンテスト（主催：同秋田県大会実行委員会）」。

今年のテーマは「あなたにごはん・大切な人へのとっておきごはん料理」ということで、県内の若い世代からたくさんの方のアイディア料理が寄せられました。

三部門（小中学生部門、高校生部門、一般部門）に分かれて審査を行った結果、小中学校の部で、東中・遠藤健光君の作品「イエローボンバー」が優良賞（秋田県消費拡大推進連絡協議会会長賞）を受賞しました。同部門には全県から六十六点百四十五名から応募がありました。

この料理は同校家庭科の授業で考えついたとのこと。遠藤くんは受賞について「自分が工夫



▲遠藤君の作品「イエローボンバー」

平成十一年三月三十一日で使用できなくなりますのでご注意ください。なお、遠隔地、学生の保険証を交付希望の方は、申請の手續きをお願いします。（学生の場合は在学証明書が必要です。）

老人医療の 対象になるとき

七十歳（一定の障害のある人は六十五歳）以上の方は、老人保健制度で医療を受けることになります。この制度は、すべての医療保険（国民健康保険、社会保険など）が、公平にお金を出し合い、国などの補助金と合わせて高齢者の医療費を支払います。

資格と届け出は

七十歳の誕生日が属する月の翌月から老人保健制度で医療を受けることになります。ただし、月の初日（一日）が誕生日の方は、その月から対象となります。なお、適用月の前月に老人医療対象者へ通知しますので、町民課国保係の窓口で申請してください。

老人保健制度で医療を受けることになっても健康保険の資格は変わりませんので、保険証は

お医者さんの窓口で「老人医療受給者証」と「保険証」を提示して診察を受けます。医療費の自己負担額は次のとおりです。

外 来	入 院
1日 500円	1日 1,100円
同じ医療機関において、1か月4回まで負担します。（最高2,000円）ただし、医科と歯科では別々に支払います。また、薬剤の一部負担も別途支払います。 ※平成11年度以降、医療費の伸びに応じて変わることがあります。	
（平成11年4月から1,200円）ただし、入院中の食事代の一部は別途自己負担となります。	

医療費の自己負担額は

お医者さんの窓口で「老人医療受給者証」と「保険証」を提示して診察を受けます。医療費等の自己負担額は次のとおりです。

従来どおりのものを使用します。また、国保に加入している方には、これまでどおり国保税も課税されます。

現在老人医療の対象となっている方でも、加入している健康保険に異動（国保から社会保険等へ、社会保険等から別の会社の社会保険等へ）が生じた場合は、変更後の保険証を添えて届け出をしてください。

資料1 入院時の食事代（1日当たり）

一般の加入者		760円
住民税非課税世帯等	90日までの入院	650円
	90日を超える入院 (過去12か月の入院日数)	500円
住民税非課税世帯等で老齢福祉年金を受けている人		300円

住民税非課税世帯などの人は「標準負担額減額認定証」が必要となりますので、町民課国保係窓口で申請してください。

資料2 外来時の薬剤一部負担

薬の種類	調剤種類	単価
内服薬 （1日分）	1種類	0円
	2～3種類	30円
	4～5種類	60円
	6種類以上	100円
外用薬 （湿布・目薬など） （1調剤分）	1種類	50円
	2種類	100円
	3種類以上	150円
頓服薬 （解熱剤・鎮痛剤など） （1調剤分）	1種類	10円

住民税非課税世帯等で老齢福祉年金を受けている人及び6歳未満の乳幼児は、上記の負担が免除されます。

住民税非課税世帯等で老齢福祉年金を受けている人は「認定証」が必要となりますので、町民課国保係窓口で申請してください。

林業 だより

スギの雪害

昨年の十一月に突発的に降った大雪とその後降った雪のために、スギ林に幹折れ、幹曲がり、梢端折れなどの冠雪害が見られます。

冠雪害の形態を分類すると、幹折れ、幹曲がり、梢端折れ、梢端曲がり、根返りになります。立木の胸高直径が二〇センチ以下の小径木であれば、幹折れや幹曲がり、二〇センチ以上の中大径木では、梢端折れ、梢端曲がり、軟弱な傾斜地では根返りが発生します。

冠雪害を受けやすい林は、

間伐を実施していない林や間伐の実施が遅れた林などで、枝が枯れあがり枝葉の張りが偏っている立木に被害があります。偏った枝葉に湿った雪が積もって、その重みで被害を受けるのです。

冠雪害に対して抵抗力をつけるには、枝葉のある樹冠の長さは、樹高の四割を目標にして間伐や枝打ちを実施し、木と木の間隔をとり枝葉が均等に生長するようにして、樹冠が偏らないようにすることが大切です。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

木材共販市況

（平成十一年二月・平均価格）
四五年生から五五年生

径 級	単価（石）	備 考
直材30cm上	—円	
24～28cm	4,800円	
14～22cm	4,600円	
13cm下	2,700円	
曲り材	2,000～2,500円	

製品相場に変化はないが、住宅金融公庫の申し込みが増えているためか、4月以降の動きを期待し、また原木の不足感あり、単価・量ともに上昇傾向。



▲黙々と作業を行う組合員の方々

二月三日、町内各小中学校において、町建設技能組合（阿部悟組合長）組合員の皆さんがボランティアで修繕作業を行いました。

この作業は子どもたちが安全な校舎で勉学に励むことができるようにと、同組合が二十余年もの長きに渡り、毎年ボランティアで行っているものです。

大琴小で作業をしていた組合員の方は寒さの中で黙々と、破損した校舎の修繕に取り組んでいました。

町建設技能組合の奉仕作業

子どもたちの喜ぶ顔のために



▲役場に設置された雪害対策本部

二月三日午前九時、町役場に雪害対策本部が設置されました。折りからの冬型気圧配置により、日本海側を中心に大雪になり、午前八時の積雪量が老方で一五三センチと、同本部設置基準の一五〇センチを超えたため、設置に至ったものです。

町では、町民生活への影響などを考慮、本部設置後、防災無線を通じ、町民に大雪に対する警戒呼びかけ、町除雪ヘルパーらが独り暮らしのお年寄り宅の巡回するなど、大雪に対する安全対策を行いました。

大荒れの天気、警戒呼掛け

雪害対策本部設置



▲がんばるスキースポーツ少年団員の皆さん

東由利町スキースポーツ少年団ががんばっています。二月から四月までの各日曜に開催されている大会でそれぞれ上位入賞を果たす活躍ぶり。特に第一回秋田県スポーツ少年団スキー種目別交流会では、優勝二名、準優勝二名等の成績をおさめました。

少年団の父兄は「コーチが一生懸命に指導してくれることが上位入賞につながっているのではないか」。また「スキーを通じて全県に仲間が増えているようだ」と話していました。

シーズン後の結果が期待されます。

スキー少年団大活躍

頑張れスキースポーツ少年団



▲山本料理長に説明を受けながら料理に舌鼓

二月十七日、東光苑入苑者の皆さんのためにと、お食事処「やしお」の出張食事サービスがありました。

この日のメニューは、山本省三総料理長がお年寄りが食べやすいものと考えたオリジナル料理。野菜白あえ、飛竜頭八方あんかけ、だまっこ鍋など盛りだくさん。皆さん楽しみながら食事をしていました。山本料理長は「調理方法を工夫し、栄養のバランスなどを考慮しながら、メニューを考えたい。年に二回程度開催できれば」と話していました。

おいしい料理の出張サービス

食事処「やしお」東光苑訪問

町の応援団として活躍期待

秋田「東由利町」を語る会

一月二十五日、秋田市内のホテルで、秋田市在住の東由利町出身者を対象にした「第二回東由利町を語る会」が開催されました。

昨年度から始まったこの会、秋田市在住の町出身者が町応援団と

して町の外から東由利を支援したいとして発足したものです。

当日は、雪降る中約六十余名の会員が出席、近況を交えながら、ふるさと「東由利」を語りあいました。



▲「東由利町を語る会」出席者全員による記念撮影



▲発起人代表の石綿孝二氏によるあいさつ

会では、まず発起人代表の石綿孝二氏が「秋田市から会員みんなが東由利を応援したい」とあいさつ。引き続き、阿部幸悦町長が日頃の町づくりの取り組みなど、町政報告を行いながら「それぞれのふるさとに対する思いを語り合うことができれば」とあいさつ、そして

の後阿部副議長から「活力ある町づくりを展開している東由利。みなさんからたくさんのお話を聞きたい」と会の盛況を祈念したあいさつがありました。



▲久しぶりの再会に話しもはずむ

前町長の畠山亮二郎氏の乾杯に続いて行われた懇談会では、久しぶりの再会と近況報告を中心に、日頃気にしているふるさとの思いを町長らと語りました。

会の締めくくりは小笠原諒治教育長。「会のますますの発展を期待する」と力強く万歳三唱を行い、会を閉じました。会員の皆さんは来年も元気に出席をと、誓いあいました。

ごはん食の重要性認識

東中が米消費拡大功労

二月三日、秋田県米消費拡大推進連絡協議会より東中が米飯給食優良団体として表彰を受けました。

これは、同協議会が米飯給食に創意工夫が見られ、米食の普及に成果をあげている団体、個人等を表彰するものです。

昭和六十年に給食を開始、現在、週五回の米飯給食を実施していること、家庭的雰囲気心がけた食事の場を作っていること、教職員の給食指導で生徒たちの食に対する関心が高く残量が少なくなっていることなど、東中の取り組みが認められたものです。

自動車税の軽減税率が廃止に

本町をはじめ、県内九町村に定置所のある自動車の自動車税は、積雪により冬期間に自動車の運行ができないものとして、これまで税率が七・五％軽減されてきましたが、平成十年九月の秋田県条例の改正により軽減税率は廃止され、平成十一年分からの自動車税は、県内の他の市町村と同様に通常の税率で課税されることになりました。

詳しくは由利県税事務所課税担当（☎三三三四一〇五）までお問い合わせください。

東由利文化クラブ

虫歯
なんてない
も〜ん。

2歳児健診
()内は保護者



福田貴斗くん
下通(清一さん)



阿部望美ちゃん
新町(淳さん)

佐々木このみちゃん
大琴(直さん)



仙道健太くん
新沢(孝一さん)



遠藤成美ちゃん
小倉(薫さん)



鯨崎ほのかちゃん
松柴(正人さん)



伊東寿信くん
蔵新田(寿栄さん)



阿部公蔵くん
野田(宇左エ門さん)



畠山彩花ちゃん
茂沢(明さん)



高橋勇貴くん
須郷(伸さん)



高橋聖ちゃん
横小路(一さん)



虫歯
なんてない
も〜ん。

3歳児健診
()内は保護者



小野寺琢哉くん
板戸(武夫さん)



小松友里恵ちゃん
石高(嘉明さん)

東由利の文芸

(せせらぎ句会)

大屋根に雪降りぬきし煙出し
喚声に木霊応える雪まろげ
じゃが芋の芽を掻く日脚すこし伸び下小路
受験子に夜の厨の音ころす
石葺摘む塀のまろき背が二つ
護岸工事の音に目覚めし路の臺
柴灯祭鬼が主役の上座かな
豆を撒く會て父母の問いま納戸
春北風に軋みどおしの舳い船

五海保 嶽石 レイ
横小路 宮野源二郎
上里 小松 メサ
船木 大庭嘉右衛門
小倉 遠藤トミ子
秋田市 嵯峨 義之
舟打場 高橋民治郎
家ノ下 小松 正昭

葉の艶に優りて咲けり山椿
匙に触れプリン震える戻り寒
散髪屋鼻にとまりし冬の蝶
落椿少女に似合う髪飾り
テガちゃんもウサちゃんもいる雪まつり
硬雪に宝石散らしつ陽がのぼる
葉缶の湯たぎる音のみ寒明ける
農日記書き怠りし春の風邪
粕漬けの色あがりたる寒の明け
かまくらの童女の訛り母のさと
雪止みて鉾先揃う山の杉
山鳩のしきりに鳴きて二月来る

蔵新田 小笠原トミ
横 渡 高橋ヒデ子
中 通 小松順之助
蔵 阿部 澄子
横小路 小松 丈介
湯出野 佐藤 正義
蔵新田 小笠原亮子
高戸屋 小松 敏雄
山 崎 小松 良子
蔵新田 小野 貞子
久 保 高橋 典三
時雨山 吉川 葉子

町職員組合ボランティア

雪害対策本部が町に設置されたことを受けて、二月十一日、町職員組合員が町独り暮らしのお年寄り宅の除雪ボランティア作業を行いました。



▲除雪作業を行う組合員

アイドルをさがせ!



大沼千聖ちゃん(9カ月)
お父さん:聡さん
お母さん:秀美さん
【蔵新田】

お話し:秀美さん

名前の由来は「ちさと」という名前の響きが前からお父さんが好きでつけました。漢字は姓名判断で決めました「チャームポイント」は「なんといつても大きな目です」「どんなお子さんですか」「よく笑ってかわいい子です」「好きなものは、苦手なものは」「好きなものはテレビのおかあさんといっしょ、食べ物だといっしょ、最近では積み木に凝っています。苦手なものは初めて見る男の人かな」「家族でなっている人は」「お父さんになついていますね」「最近のエピソードがありましたら」「おじいちゃんの電話の物まねや、つかまり立ちが上手になった事」「将来はどんなお子さんに」「人の気持ちが分かる思いやりのある子どもに」

ハイスクール三年

卒業にあたって

下郷分校 三年
小笠原 雅 人くん



高校に入学してあつという間に三年の月日が過ぎ去った。短い三年間だったが、多くの貴重な経験ができたおかげで、自分も少しずつだが成長してきたと思う。それは自分を支えてくれたたくさんの友人によるところも大きい。

この三年間で何か一つ頑張ってみようと思い、入学してすぐに軟式野球部に入った。一年の春、初めての公式戦で勝った時のことは今でも忘れられない。そして三年になり、夏の最後の公式戦では、それまで積んできた力を十分発揮できずに惜しくも負けてしまった。悔しかった。この思いも忘れることはないだろう。

しかし、結果はどうあれ、厳しい練習に耐え、最古まで続けてこれたことは、自分を鍛えるという意味ではよい経験だったと思う。

この春からは、いよいよ社会人としての新しい生活が始まる。自分の仕事に責任を持ち、たくさんの経験を積んでもっと自分を磨いていきたいと思っている。

最後に、三年間お世話になった先生方がとうございました。

遠藤剛くん

小倉(司さん)



梅津翔吾くん

大夢(和彦さん)



佐々木未来ちゃん

大夢(静八さん)



小野翔太くん

須郷田(久一さん)



富山夏葉ちゃん

袖山(孝さん)



小松聡子ちゃん

八日町(明さん)



佐藤悠作くん

蔵(和広さん)



嶽石翔くん

山崎(伊久雄さん)



ふるさと むかしむかし

十二柳のテッポコシッポコ

むかしむかし、村むらを廻り鍋や釜のこわれたところを鍔かけて暮らしている銅屋がいました。お酒の好きなドヤどんは、夕方になると晩酌どきの家に立ち寄り、一杯たのむとお酒のおねだりをします。

こうしたことが村のうわさになり、夕方ドヤどんが来ると、誰の家でもお酒をかくしてしまうのでした。悲しい顔のドヤどんは「あれば飲む、あらねば飲まぬこのドヤは、婢かくなな燗鍋の酒」しゃれた一首を詠む名物ドヤどんでした。そんなドヤどんでも、この頃みんなのため善いことをしたと、もっぱらの評判です。それは……。

ある日のこと、鍔かけ道具を背負

い、お酒で上ぎげんのドヤどん、日もとつぷり暮れ、真暗な上里橋からの細い道を、ふらりふらり歩いていくと、暗闇の中から提灯を手にしたきれいなアネコが現われ「ドヤどんドヤどん、こっちへおいで」と手招きで、にっこり笑っているのです。

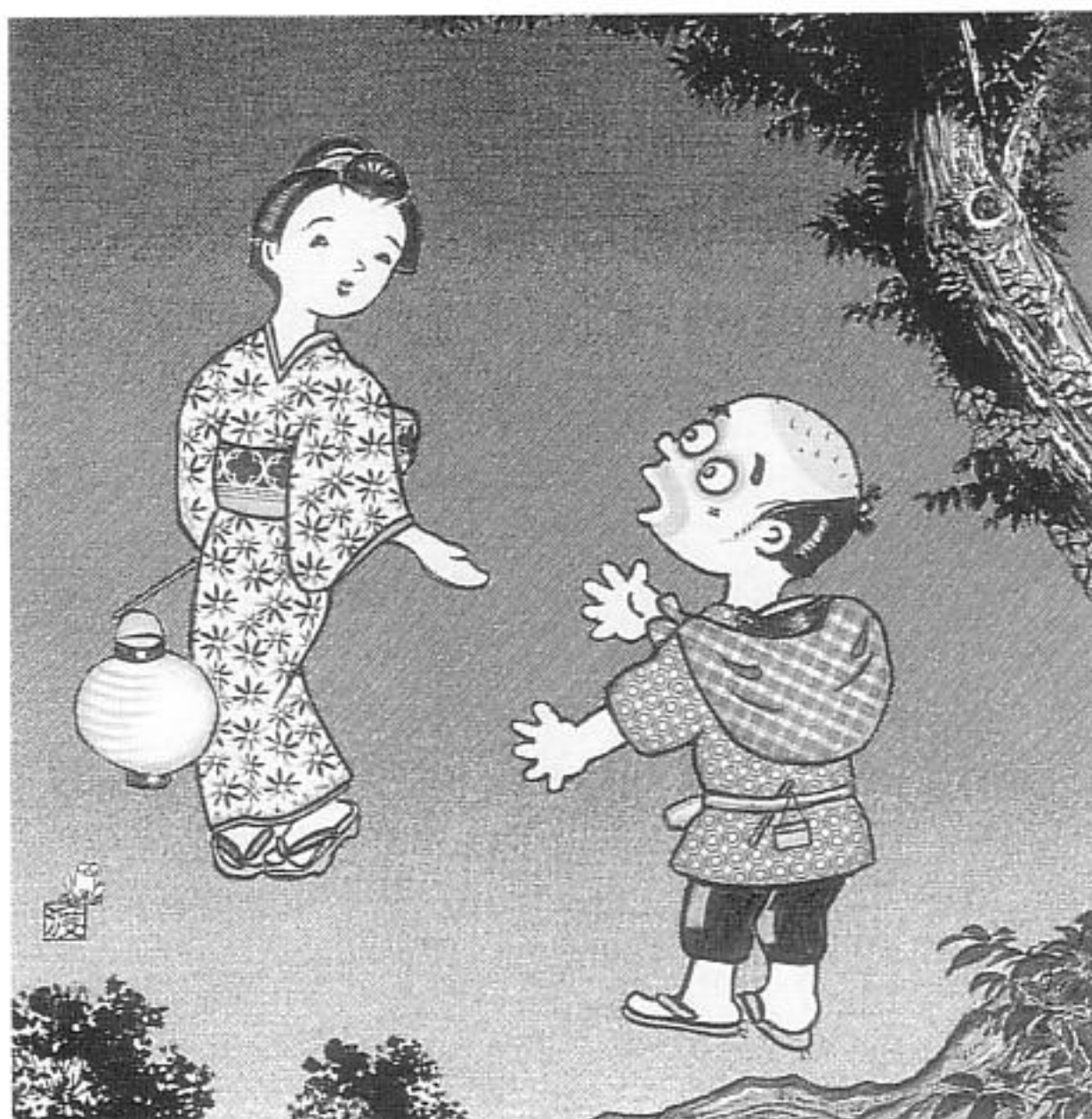
「きげんのドヤどんは、アネコの後をついていくと、アネコは「さあ家に着いたよ。休んでください。ドヤどんは、いいことが続きそうだと思うているうちに、ぐっすり眠ってしまいました。つぎの朝、目をさめて見ると、田の畔を枕に裸になって寝ていたのです。酔っぱらいのドヤどんばかりでなく、村人もたびたび狐にだまされているので、ドヤどんは、今度こそこらしめてやるぞと、こころに決めるのでした。その晩は、

寄ってきたので、ドヤどんはこのときとばかりに、アネコの手をぎっしりとつかむと、アネコはあわてて手を振り離そうとします。ドヤどんは「こらっ、お前はどこの狐だ。ゆるさんぞっ……」と、手をゆるめず、腰からどうらんこを出して火をつけ、握っていた手に火をつけようとしました。驚いた狐のアネコは「ごめんしてくれえ……十二柳のテッポコシッポコだあ……」と泣いて謝るのです。

手を離してやると、正体を現わしたテッポコシッポコは、とぶように逃げていきました。

それからは、狐のテッポコシッポコもだまることがなくなったということです。

(文と絵 石渡力造氏)





郷土の野草

東由利

NO.169

オヘビイチゴ
(バラ科)

文・写真 小松忠正氏

オトコヘビイチゴともいい、原野、田の畔などに自生する多年草で、全草に優毛(細かい、短い毛がふせるようについたもの)がありま

す。根出葉は長い柄が五枚、茎につく葉も短柄が五枚、まれに三枚のものも混じります。形は長楕円形で巾一から二センチ、長さは三から五センチぐらいになります。五月の下旬ごろから黄色の五弁の小花を開きます。花びらは倒心臓形で上辺の中央がややへこみます。果実はしなびたような、やせたものが多いようです。

3月▶データ東由利

〈1/1~31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男……………2,534人 (△7)
- 女……………2,691人 (1)
- 計……………5,225人 (△6)
- 世帯数……………1,391戸 (△1)

() は1月からの累計

- ・出生0人(0)・死亡3人(3)
- ・転入4人(4)・転出7人(7)

- 火災出動……………1件 (1)
- 救急出動……………21件 (21)
- 交通事故……………1件 (1)
- ・死亡……………0人 (0)
- ・傷者……………1人 (1)
- 飲酒運転……………1人 (1)
- 酒気帯び……………0人 (0)

3月の行事予定

- 2 本荘高校卒業式
- 4 議会定例会
- 8 ことぶき大学閉校式
- 9 町スポーツ栄誉賞
芸術文化賞表彰式
- 12 東由利中卒業式
- 17 八塩小卒業式
- 18 高瀬小・大琴小卒業式
- 21 春分の日
- 25 永慶保育園卒園式
- 27 みどり保育園卒園式



ほっとひといき

今年から新しく道の駅で「元気が出るまつり・東由利雪ものがたり」が始まりました。

場所、内容など一新、新たな気持ちで雪まつりをと、限られた時間の中で、町観光協会を中心に、各団体が協力しながらつくりあげました。(特に雪像は仕事後、自分の時間を使って何日も頑張っていました)

結果については、訪れた方の「子供のよい思い出になりました」という言葉がすべて物語っている気がします。(さ)

戸籍の窓口

(1月21日~2月20日届出)

●お誕生おめでとう

2/5 阿 曾 剛 仁さん(惣子) 宇戸坂

●ご結婚おめでとう

1/29 浅 田 和 幸さん 船木
安 倍 歩 さん 家ノ下

1/31 小 野 忠 夫さん 宿
長谷川 まゆみさん 天王町

2/12 佐 藤 義 宏さん 松 柴
佐 藤 純 子さん 本荘市

●ごめい福をお祈りいたします

2/4 齊藤キヨミさん(84) 眞一・祖母・石

2/8 長谷山専太郎さん(90) 一恵・養父・船木

2/14 小笠原藤一さん(79) 富子・夫・土場

2/18 佐藤 松吉さん(82) サガミ・夫・須郷田

まごころ

社会福祉協議会に小松トミさん(下通)、東由利町職員組合(役場)、長谷山一恵さん(船木)、遠藤ナミさん(野田)、齊藤眞一さん(石高)、小笠原正喜さん(土場沢)からご芳志が、また広報送付謝礼として、阿部勝男さん(秋田市在住)、大湯村東由利出身者一同(大湯村在住)、高橋サキさん(秋田市在住)、小笠

原宣子さん(秋田市在住)、畑山久さん(秋田市在住)、加藤昭子さん(秋田市在住)、遠藤昭三さん(富士見市在住)、遠藤莊助さん(函館市在住)、岡部紀美子さん(本荘市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。



「お年寄りのために」と 下郷分校魂を発揮

●下郷分校が除雪ボランティア



▲当日はAKT(写真)、秋田魁新報の取材が
二月十日、一人暮らしお年寄り宅で除雪ボランティアをと、下郷分校一、二年の生徒四十三人が除雪ボランティア作業を行いました。これは同校と町社会福祉協議会が共同で毎年行っているもの。生徒たちは八軒の家を訪ねました。今年には町に雪害対策本部が設置されるほどの大雪に見舞われたため、どの自宅も積雪と屋根からの雪で家が白く覆われていました。生徒たちはスコップ、スノーダンプなどを手に持ち、家の軒下などを重点的に除雪作業を行いました。限られた時間でしたが、生徒たちは一生懸命作業を行っていました。終了後、生徒たちは満足げな笑みをのぞかせていました。なお、当日の様子はAKT、魁新報でも紹介されました。